

#### 4. 2015 年度の概要と主な取り組み

(1) 日 時 2015 年 11 月 2 日(月)～6 日(金)

(2) 場 所 立命館中学校・高等学校 (京都府長岡京市)、  
立命館大学大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市)、京都市内

(3) 参加者内訳

※2015 年 10 月 20 日時点

	参加国・地域数	参加校数	生徒数	教員数
海外	20	33	115	53
日本	1	13	26	17
立命館		1	104	24
計	21	47	245	94

(4) 主 な 企 画 内 容 ※写真は 2014 年度の様子

##### ◆科学研究口頭発表

各国の代表生徒が、サイエンスに関する研究発表を個人もしくはグループ単位で行う。1 チーム 15 分間。今回は、ロボットや環境などの分野で約 50 本の発表が行われる。本校からは「人の密集の出口渋滞と壁によるその緩和策」や「ツマグロヒョウモンの適用戦略」について発表予定。



##### ◆ポスターセッション

生徒が自身の研究を 1 枚の英語ポスターにまとめて発表。口頭発表と違って多くの人から参考になる意見を聞くことができ、参加者同士の相互交流が行われる。今回は約 100 本の発表が出品される。



##### ◆Science Zone(サイエンスゾーン) 課題解決型ワークショップ

参加者の興味に応じて、「ロボット」「IT」「農業」など7つのゾーンに分かれて国や学校の枠を超えた 4～5 名でグループを作る。ゾーン毎に「ヘビ型ロボット」や「持続可能な農業計画の提案」など課題を与えられ、大学教授や研究者による講義を受講したり、グループごとにリサーチしたり話し合ったりして最終日に発表・提案を行う。お互いに競い合いながらも協働作業を経験する。将来の国際プロジェクト等の模擬体験といえるアクティビティ。また Zone の内の1つはローム株式会社様により実施いただく。



##### ◆Science Talk(サイエンストーク) 科学特別講義

科学の特別講義。立命館大学、大阪大学、自然科学研究機構、国立天文台ハワイ観測所などから講師を招き最先端の科学について学ぶ5つの講座を用意する。

##### ◆企業見学

京都市内の企業や研究所7箇所(京セラ株式会社、日本新薬株式会社、日本写真印刷株式会社、ローム株式会社、株式会社 SCREEN ホールディングス、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ユーシン精機)の見学を行い、最先端の研究・ものづくりに触れる。



##### ◆Science Showdown(サイエンスショーダウン)

数名のチームを作って、その場で出された課題にそった“ものづくり”に取り組む。ユニークな発想、正確な技術、チームワークが問われることになり、また出来上がったものを使った競技を行う。

